

蓬田村漁業協同組合におけるアマモ場づくり活動，啓発活動

1. 取り組み体制と活動概要

蓬田村漁業協同組合は，令和3年度から4年度にアマモ場づくり活動と海域環境やブルーカーボンについての啓発活動に取り組んだ。

これらの活動は，令和3,4年度は，組合と弘前大学の共同研究で，令和4年度はそれに加えて弘前大学と蓬田村との共同研究を通じて取り組んだ。また，活動にあたって，青森県東青地域県民局青森地方水産業改良普及所の指導を得た。

| 年度 (共同研究) | 令和3年度 (蓬田村漁協-弘前大学) | 令和4年度 (蓬田村漁協-弘前大学，蓬田村-弘前大学) |
|--------------|--|--|
| アマモ場づくり活動 | 12月21日:蓬田漁港 水槽に播種 種苗生産開始 | <div>8月27日:漁港沖増殖礁</div> <div>3月21日</div> <div>人工種苗移植</div> <div>野辺地産種子播種・天然株移植</div> <div>生育状況調査</div> <div>6月22日</div> <div>7月1日</div> <div>11月17日</div> <div>花枝採取</div> <div>花枝を水槽に移し 種苗生産開始</div> <div>種子採取</div> <div>水槽播種</div> <div>3月21日: 漁港沖増殖礁</div> <div>人工種苗移植</div> <div>天然株移植</div> |
| 啓発活動 | 9月10日:漁協 12月21日:漁協 アマモ場，ブルーカーボン研修会開催 | 2月20日：八甲田丸 ブルーカーボン講演会参加 (八戸工大主催) |

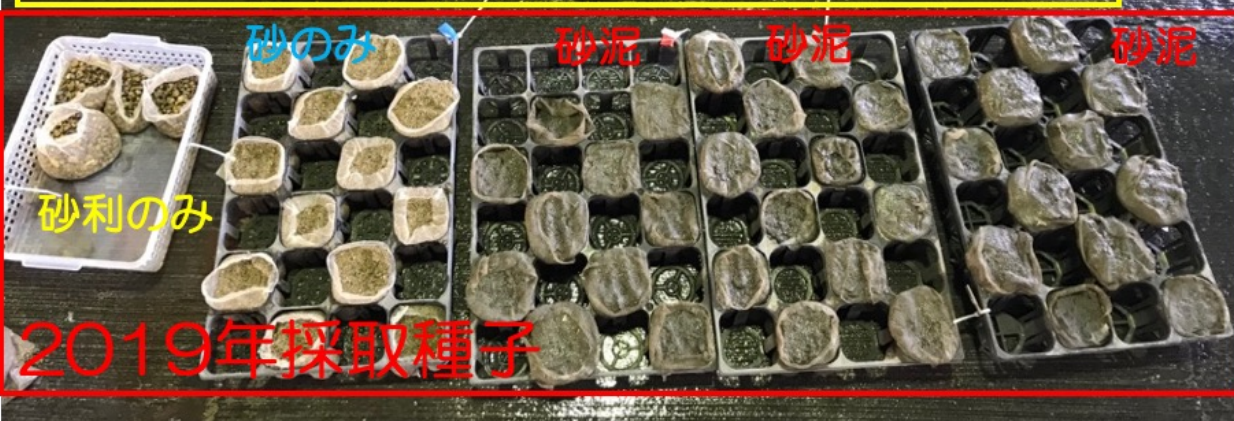
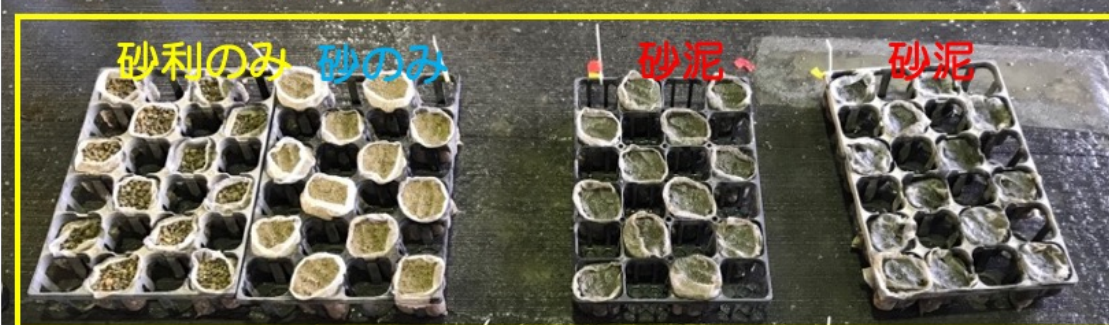
2. アマモ場づくり活動

(1) 2021年度採苗

- ・2021年12月21日生分解ネットに入れた砂，砂利，野辺地漁港から浚渫された泥にそれぞれスゲアマモ種子を播種



2020年採取種子

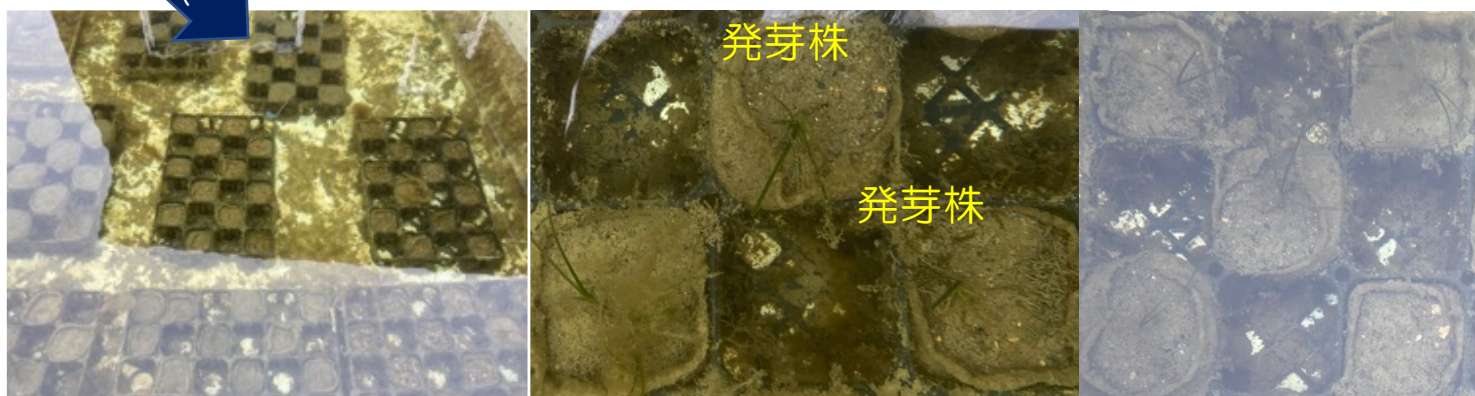
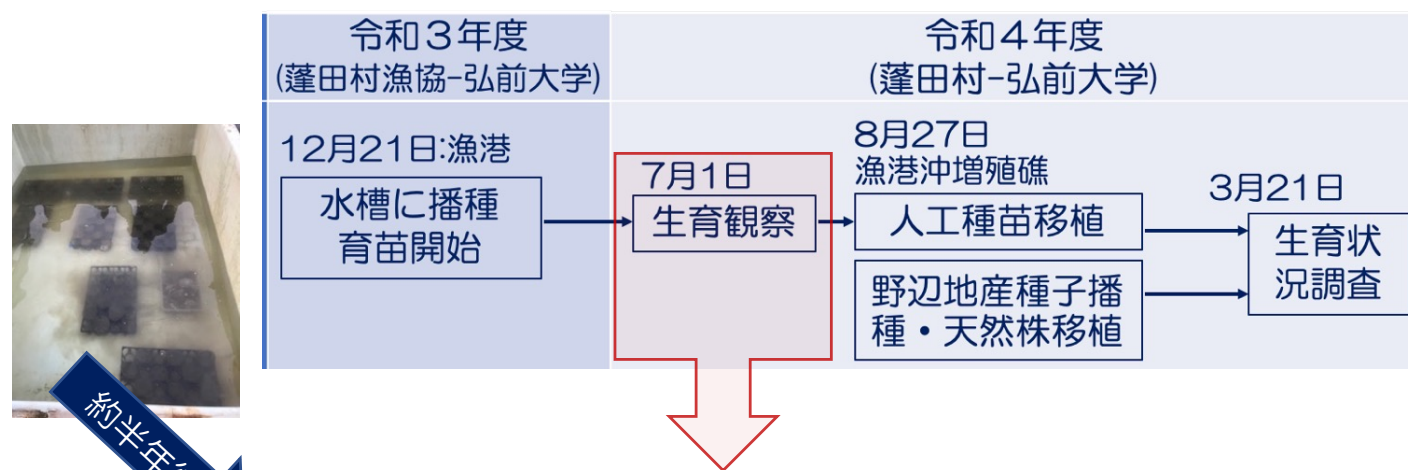


2019年採取種子

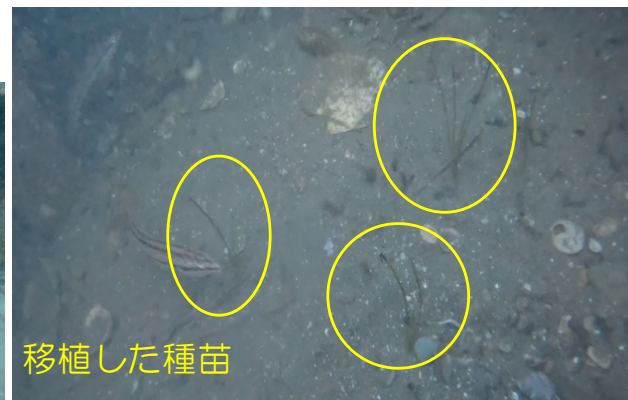
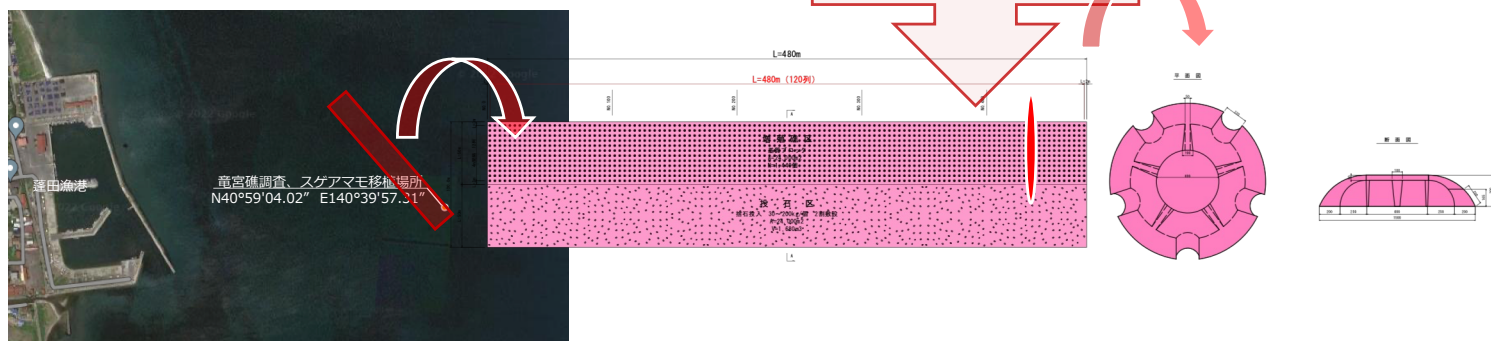
- ・生分解ネットに播種したスゲアマモ種子を漁港荷捌き脇の10トン水槽に収容し育苗開始
- ・水槽の海水を適宜（月1回程度）交換しながら春まで静置培養



- ・2022年7月1日に育苗状況を観察したところ、発芽体を観察

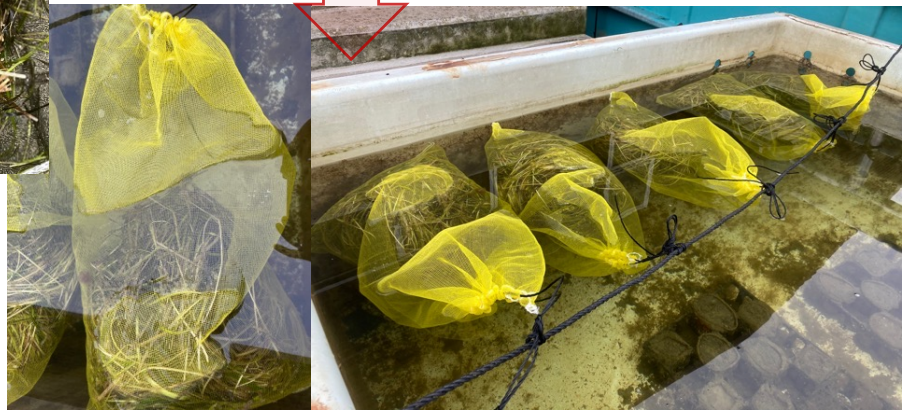
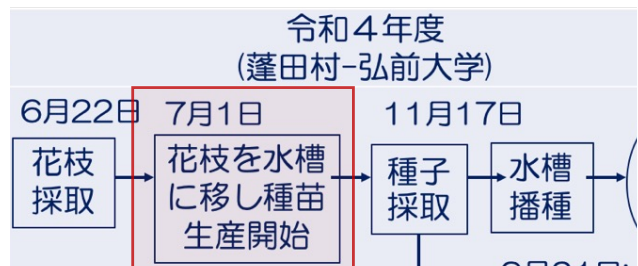


- ・8月27日には草丈15センチ前後に生長したスゲアマモ栄養株が確認されたため、育苗を終了
- ・蓬田漁港沖に県が造成した増殖場のナマコ・アマモ育成礁内に人工種苗を移植

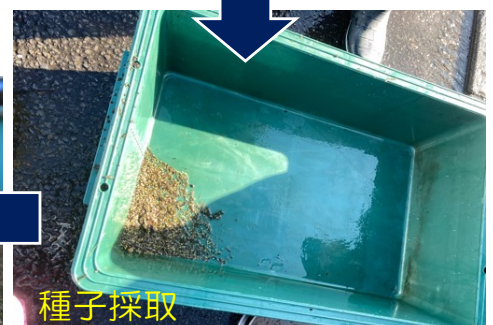
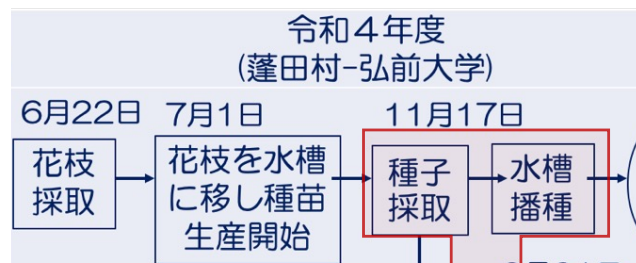


(2) 2022年度採苗

- ・2022年7月1日に花穂を形成した花枝を網袋につめ、荷捌き所脇の10トン水槽の海水中に垂下
- ・花穂を腐らせ種子が自然に落下するのを待った



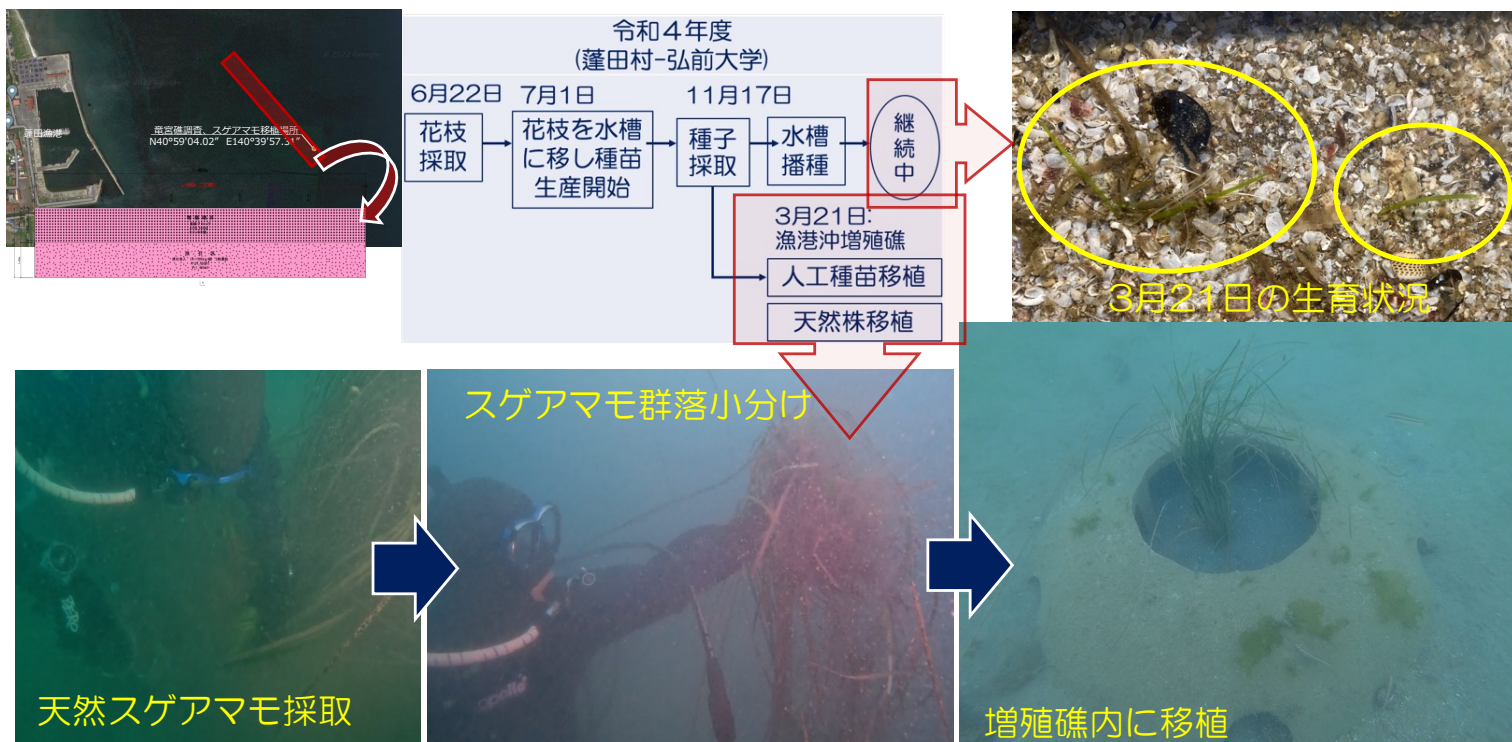
- ・約4ヶ月後の11月17日に網袋から枯死した花枝を取り出し、ふるいを使って種子を選別・採取



・種子をコンテナに敷き詰めた砂の深さ3cmに播種，水槽に移し育苗開始



・11月17日に育苗水槽に草丈5cm程度のスゲアマモ発芽体を確認認め，5基のナマコ・アマモ増殖礁内部に天然のスゲアマモ栄養株を移植





・11月17日には、採取したスゲアマモ種子を20粒ずつ注射筒に詰めて、6基のナマコ・アマモ増殖礁内部の5箇所計600粒を播種



3. 啓発活動

- ・2021年9月10日，12月21日にそれぞれ組合会議室において，海域環境，アマモ場，ブルーカーボンについての研修会を開催
- ・2023年2月20日には，蓬田村漁協組合長，副組合長，代表監事，研究会長，参事が，青森市で開催されたJBE桑江理事長によるブルーカーボンの講演会に参加

啓発活動

9月10日:漁協
12月21日:漁協

アマモ場，ブ
ルーカーボン研
修会開催

2月20日：八甲田丸

ブルーカーボン講演会参加
(八戸工大主催)

